

平成12年度第1回京都市公共事業再評価委員会議事概要

第1回委員会では、まず、平成12年度における京都市予算の概要について説明を受けました。次いで、平成10年度に再評価が行われた、22事業のフォローアップの報告として、その後の取組状況について説明を受けました。

第2回委員会では、平成12年度における再評価の対象事業の概要説明が行われる予定です。

1 日時 平成12年6月30日(金) 午前9時30分から正午まで

2 場所 ルビノ京都堀川 地下1階「平安」

3 出席者

(1) 委員

佐佐木委員長、嘉田副委員長、下野委員、徳岡委員、町田委員

(欠席：長谷川委員、安本委員)

(2) 市職員

建設局長、長谷川建設局理事、管理部長、道路部長、街路部長、水と緑環境部長、

都市整備部長、用地室長、都市計画局住環境整備室部長、

下水道局管路部長 ほか関係職員

4 内容

(1) 平成12年度京都市予算の概要説明

(2) 平成10年度再評価事業のフォローアップについての報告

平成10年度に再評価の対象として審議を行った22事業に係る、フォローアップの報告として、現時点における各事業の取組状況について説明を受けた。

平成12年度第2回京都市公共事業再評価委員会議事概要

第2回委員会では、まず、平成12年度における再評価の対象となる事業の概要及び対応方針(案)について説明を受けました。

次いで、平成12年度における再評価審議の進め方について審議を行いました。その結果、今年度については対象事業が京都市単独事業8事業のみであることから、全ての再評価対象事業について審議を行うこととしました。

なお、詳細な審議については、対象事業に係る現地視察を終えてから実施することとしています。

第3回委員会では、審議対象とする事業の現地視察を実施します。

1 日時 平成12年8月3日(木) 午前9時30分から正午まで

2 場所 ルビノ京都堀川 2階「銀閣」

3 出席者

(1) 委員

佐佐木委員長，嘉田副委員長，下野委員，徳岡委員，長谷川委員，町田委員
安本委員

(2) 市職員

建設局長，長谷川建設局理事，管理部長，街路部長，都市整備部長，用地室長
ほか関係職員

4 内容

(1) 平成12年度再評価対象事業の事業概要等についての説明（別紙参照）

次の8事業について，概要，問題点，京都市の対応方針（案）の説明を受けた。

ア 街路事業	幡枝葵森線	対応方針（案）「事業継続」
イ 街路事業	国鉄嵯峨駅北通	対応方針（案）「事業継続」
ウ 街路事業	桂駅東通	対応方針（案）「事業継続」
エ 街路事業	山陰街道	対応方針（案）「事業継続」
オ 街路事業	御陵六地藏線	対応方針（案）「事業継続」
カ 土地区画整理事業	上鳥羽南部地区	対応方針（案）「事業継続」
キ 土地区画整理事業	竹田地区	対応方針（案）「事業継続」
ク 土地区画整理事業	伏見西部第二地区	対応方針（案）「事業継続」

〔主な質問〕

街路事業

- ・国鉄嵯峨駅北通と他の関連事業について
- ・桂駅東通及び山陰街道の，周辺道路整備も含めた道路ネットワークについて

土地区画整理事業

- ・高度集積地区整備ガイドプラン等，南部開発計画との関連について

(2) 平成12年度における再評価審議の進め方について

平成12年度における再評価対象事業が8事業のみであるため，全ての事業について重点的に審議を行うこととした。

なお，各事業についての詳細な審議は，現地視察終了後，次回の委員会以降に行うこととする。

平成12年度 再評価対象事業一覧

再評価対象事業の該当条件

事業採択後5年を経過した後も未着工の事業

事業採択後10年を経過した時点で継続中の事業

事業の進捗状況や社会経済情勢の急激な変化による事業

京都市単独事業

種別	番号			採択年度	該当条件	経過年数	事業進捗率	備考
街路事業	1	幡枝葵森線	延長, 幅員 L = 699m, w = 14m	H3		10	5%	19%*1
	2	国鉄嵯峨駅北通	延長, 幅員 L = 143m, w = 11m	H3		10	1%	64%*1
	3	桂駅東通	延長, 幅員 L = 674m, w = 12m	S60		16	54%	67%*1
	4	山陰街道	延長, 幅員 L = 178m, w = 15m	H2		11	6%	
	5	御陵六地藏線	延長, 幅員 L = 421m, w = 15m	H3		10	82%	
土地区画整理事業	6	上烏羽南部地区	面積 A=151.0ha	S46		30	93%	96%*2
	7	竹田地区	面積 A=48.1ha	S49		27	91%	99%*2
	8	伏見西部第二地区	面積 A=117.5ha	S44		32	86%	99%*2

事業進捗率は、平成12年3月31日現在

備考欄*1は土地開発公社による用地取得を計上した進捗率を示す。

*2は区画整理事業の仮換地指定率を示す。

平成12年度第3回京都市公共事業再評価委員会概要

第3回委員会では、再評価対象事業の現地視察を行いました。

今年度は、再評価対象事業すべてを重点審議の対象としているため、8事業すべてについて現地視察を実施しました。

- 1 日時 平成12年8月30日(木) 午前9時30分から午後5時まで
- 2 場所 幡枝葵森線(街路事業), 国鉄嵯峨駅北通(街路事業), 桂駅東通(街路事業), 山陰街道(街路事業), 御陵六地藏線(街路事業), 上烏羽南部地区(土地区画整理事業), 竹田地区(土地区画整理事業), 伏見西部第二地区(土地区画整理事業) (対象事業一覧参照)
- 3 出席者
 - (1) 委員
佐佐木委員長, 嘉田副委員長, 徳岡委員, 長谷川委員, 安本委員
(欠席: 下野委員, 町田委員)
 - (2) 市職員
長谷川建設局理事 ほか関係職員
- 4 内容 上記の事業について事業箇所の視察を行い, 事業の進捗状況等について関係職員から説明を受けた。



平成12年度第4回京都市公共事業再評価委員会概要

第4回委員会では, まず初めに, 公共事業を巡る最近の情勢について事務局から説明を受けました。

続いて, 平成12年度再評価対象事業の対応方針(案)についての審議を行いました。

- 1 日時 平成12年10月12日(木) 午前9時30分から正午まで
- 2 場所 ルビノ京都堀川 2階「ひえい」
- 3 出席者 佐佐木委員長, 嘉田副委員長, 下野委員, 徳岡委員, 町田委員, 安本委員
(長谷川委員 欠席)
- 4 内容

(1) 公共事業を巡る最近の情勢について(別添資料参照)

公共事業を巡る最近の情勢について, 資料に基づき事務局から説明を受けました。

ア 本年8月28日に発表された「公共事業の抜本の見直しに関する三党合意」

では, 一定条件に該当する事業は, 中止を前提に抜本的に見直すこととする

とされており, これらの条件に該当する事業は, 建設省102件, 運輸省

61件, 農林水産省70件の計233事業に上ること

イ 三党合意を受けて, 建設省が, 事業効果の早期発現の観点から独自の見直

し基準を定め, これに該当する事業は34事業であること

ウ 三党合意及び建設省独自見直しのいずれにも京都市の事業は対象となっていないこと

(2) 平成12年度再評価対象事業(全事業)の対応方針(案)審議

次の8事業の対応方針(案)について審議を行いました。

ア 街路事業幡枝葵森線...対応方針(案)「事業継続」

イ 街路事業国鉄嵯峨駅北通...対応方針(案)「事業継続」

ウ 街路事業桂駅東通...対応方針(案)「事業継続」

エ 街路事業山陰街道...対応方針(案)「事業継続」

オ 街路事業御陵六地藏線...対応方針(案)「事業継続」

カ 土地区画整理事業上烏羽南部地区...対応方針(案)「事業継続」

キ 土地区画整理事業竹田地区...対応方針(案)「事業継続」

ク 土地区画整理事業伏見西部第二地区...対応方針(案)「事業継続」

主な意見

- ・ 道路の詳細な調査設計を行い, 早期に道路建設を進めていくこと。(街路事業幡枝葵森線)
- ・ 用地取得の早期完了に努めるとともに, 駅前広場の具体的な計画の検討を進めること。(街路事業国鉄嵯峨駅北通)
- ・ 用地買収を進め, 事業進捗に努めること。(街路事業山陰街道)

(3) その他

平成11年度の再評価において, 条件付き事業継続とされた道路事業大原花背線の現状について報告を受けました。

次回の委員会では, 審議の結果に基づき, 委員会としての意見の取りまとめを行

う予定です。

平成12年度第5回京都市公共事業再評価委員会概要

第5回委員会では、これまでの審議結果を踏まえ、公共事業の再評価に関する意見のとりまとめを行いました。

委員会では、とりまとめた意見を、「公共事業の再評価に関する意見書」として、平成12年11月15日午前10時から、市役所第一応接室において、市へ提出します。

第5回京都市公共事業再評価委員会の概要

- 1 日時 平成12年11月7日(火)午後3時から午後5時まで
- 2 場所 ルビノ京都堀川 「加茂」
- 3 出席者
佐佐木委員長，長谷川委員，町田委員，安本委員
(嘉田副委員長，下野委員，徳岡委員 欠席)
- 4 内容
公共事業再評価に関する委員会としての意見を、「平成12年度公共事業の再評価に関する意見書」としてとりまとめ、京都市へ提出することとした。

「公共事業の再評価に関する意見書」の提出

- 1 日時 平成12年11月15日(水)午前10時から
- 2 場所 市役所本庁舎3階「第一応接室」
- 3 出席者
(1)委員
佐佐木委員長ほか
(2)京都市
増田副市長ほか

* 当日、「平成12年度公共事業の再評価に関する意見書」を配布します。

平成12年度第6回京都市公共事業再評価委員会概要

第6回委員会では、まず初めに、委員の任期満了に伴い新たに委嘱された委員により、委員長及び副委員長の選出が行われました。

続いて、平成11年度の再評価において、1年間を期限とする「条件付き事業継続」との対応方針が定められた道路事業大原花背線について、1年の経過を踏まえて新たに作成された京都市の対応方針（案）についての審議が行われました。

委員会でとりまとめられた意見については、「道路事業大原花背線に関する意見書」として、平成13年3月29日午前9時から、市役所第一応接室において、市へ提出されます。

第6回京都市公共事業再評価委員会の概要

1 日時 平成13年3月26日（月）午後2時から5時まで

2 場所 ルビノ京都堀川 「ひえい」

3 出席者

委員会委員7名全員（別紙委員名簿参照）

4 内容

(1) 委員長及び副委員長の選出

平成14年度末までを任期として新たに委嘱された委員により、委員長及び副委員長の選出が行われました。

委員長 佐佐木 綱 氏（再任）

副委員長 徳岡 一幸 氏

(2) 道路事業大原花背線の対応方針（案）審議

平成11年度の再評価において、1年間を期限とする「条件付き事業継続」とされた道路事業大原花背線の、平成12年度中の事業進捗状況を踏まえて「事業継続」とした新たな対応方針（案）についての審議が行われた。

主な意見

・道路事業だけでなく、大見地区全体の整備構想という広い範囲で検討し、基本的な合意が図れた意義は大きいと考える。今後の事業の推進に際しても、地元との認識にずれがおきないように、事業全体を見据えて取り組まれない。

・せっかくの地元との合意も、事業の推進に時間がかかりすぎでは無意味である。今後は、事業の早期実現も念頭において整備を進める必要がある。

「道路事業大原花背線に関する意見書」の提出

1 日時 平成13年3月29日（木）午前9時から

2 場所 市役所本庁舎3階「第一応接室」

3 出席者

(1)委員

佐佐木委員長ほか

(2)京都市

河内副市長ほか

* 当日、「道路事業大原花背線に関する意見書」を配布します。